

○ 第2回大学対抗ミートジャッジングで総合部門1位に帯広畜産大の加藤さん

全日本大学対抗ミートジャッジング競技会(日本ICMJ)が4～5日の両日、東京・港区の東京食肉市場で行われた。今年で2回目の開催となる今大会には10校47人(うち女性30人)が参加。初日には特別講演と食肉格付に関する講義と実演が、2日目に黒毛和牛、交雑種、豚の3部門で競技が行われた。協議の結果、帯広畜産大学3年生の加藤啓介さん(24歳)が総合部門1位に輝いた。同部門2位は宮崎大学3年生の石川悠未さん、3位に神戸大学4年生の清水俊策さん、4位に麻布大学3年生の鈴木喬之さん、5位に麻布大学3年生の常盤将広さんが受賞。総合部門で入賞した5人は、

オーストラリアで開かれる「オーストラリア大学対抗ミートジャッジング競技会」に日本代表チームとして参戦する。



そのほか、黒毛和牛部門賞1位は日本大学3年の高山世絵梨さん、交雑種部門1位は常盤将広さん、豚肉部門1位は加藤啓介さんが獲得したほか、大学対抗部門に北海道大学チームが、懇親会を盛り上げたとして“懇親会特別賞”に

【総合部門】1位:加藤啓介(帯広畜産大学畜産学部・畜産科学科)、2位:石川悠未(宮崎大学農学部・食料生産科学科)、3位:清水俊策(神戸大学農学部・生物機能化学科)、4位:鈴木喬之(麻布大学・獣医学部・動物応用科学科)、5位:常盤将広(麻布大学・獣医学部・動物応用科学科)

【黒毛和牛部門】1位:高山世絵梨(日本大学生物資源科学部・動物資源科学科)、2位:杉崎朋美(日本獣医生命科学大学応用生命科学部)、3位:佐藤未来(筑波大学生命環境学群・生物資源学類)

【交雑牛部門】1位:常盤将広(麻布大学・獣医学部・動物応用科学科)、2位:清水俊策(神戸大学農学部・生物機能化学科)、3位:青木瑞代(筑波大学生命環境学群・生物資源学類)

【豚部門】1位:加藤啓介(帯広畜産大学畜産学部・畜産科学科)、2位:鈴木喬之(麻布大学・獣医学部・動物応用科学科)、3位:紫芝涼真(帯広畜産大学畜産学部・畜産科学科)

【大学対抗部門】1位:北海道大学、2位:帯広畜産大学、3位:麻布大学

日本獣委生命科学大学チームが選ばれた。

総合部門1位を受賞した加藤さんの実家は、北海道むかわ町で和牛繁殖農家を営んでおり、大学卒業後は家業を継ぐ予定だという。「授業で牛の枝肉を見る機会があったが、豚は初めて。一番良い枝肉を見分けるのはできたが、判定が難しい枝肉も多く、苦勞したが、総合1位を獲得するとは思わなかった。これを励みに今後も頑張ってゆきたい」と話していた。